

**平成20年3月期
決算説明資料**

スルガ銀行株式会社

【 目 次 】

I 平成20年3月期決算の概要	
1. 損益、経営指標の状況	単 1
2. 主要勘定の状況	単 4
3. 有価証券の評価損益の状況	単 6
4. 資産の状況	単 7
5. 与信費用の状況	単 8
6. ROE・ROA	単 9
7. 自己資本の状況	単
8. 配当の状況	単 10
9. 平成21年3月期の業績予想	単・連
10. 地域貢献に関する情報	単 11
II 平成20年3月期決算の状況	
1. 損益状況	単 12
	連 13
2. 業務純益	単
3. 利鞘	単 14
4. 有価証券関係損益	単
5. 自己資本比率	単・連 15
6. ROE	単
III 貸出金等の状況	
資産内容の開示における各種基準の比較	単 16
1. リスク管理債権の状況	単・連 17
2. リスク管理債権に対する引当率	単
	連 18
3. 貸倒引当金等の状況	単・連
4. 金融再生法開示債権	単
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単
6. 業種別貸出状況等	
①業種別貸出金	単 19
②業種別リスク管理債権	単
③個人ローン残高	単 20
④中小企業等貸出比率	単
7. 国別貸出状況等	
①特定海外債権残高	単
②アジア向け貸出金	単
8. 預金、貸出金の残高	単
IV 有価証券の評価損益	
1. 評価損益	単・連 21
V 退職給付関連	
1. 退職給付債務に関する事項	単・連 22
2. 退職給付費用に関する事項	単・連

I. 平成20年3月期決算の概要

1. 損益、経営指標の状況【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
業務粗利益	79,645	2,705	76,940
資金利益	76,178	5,868	70,310
役務取引等利益	4,817	△ 732	5,549
その他業務利益(注1)	164	18	146
コア業務粗利益	81,159	5,153	76,006
経費△	39,889	2,097	37,792
コア業務純益(注2)	41,270	3,056	38,214
国債等債券損益	△ 1,513	△ 2,447	934
一般貸倒引当金繰入額△	△ 1,909	△ 3,765	1,856
業務純益	41,666	4,375	37,291
不良債権処理額△	6,883	326	6,557
株式等損益	△ 1,911	△ 1,939	28
経常利益	32,631	2,204	30,427
固定資産処分損益	△ 778	△ 668	△ 110
償却債権取立益	1,091	△ 1,798	2,889
役員退職慰労引当金過年度分繰入額△	2,394	2,394	-
睡眠預金払戻損失引当金過年度分繰入額△	267	267	-
当期純利益	17,882	△ 2,197	20,079
与信費用	4,974	△ 3,440	8,414
実質与信費用(注3)	3,882	△ 1,643	5,525

(注1) 除く国債等債券損益

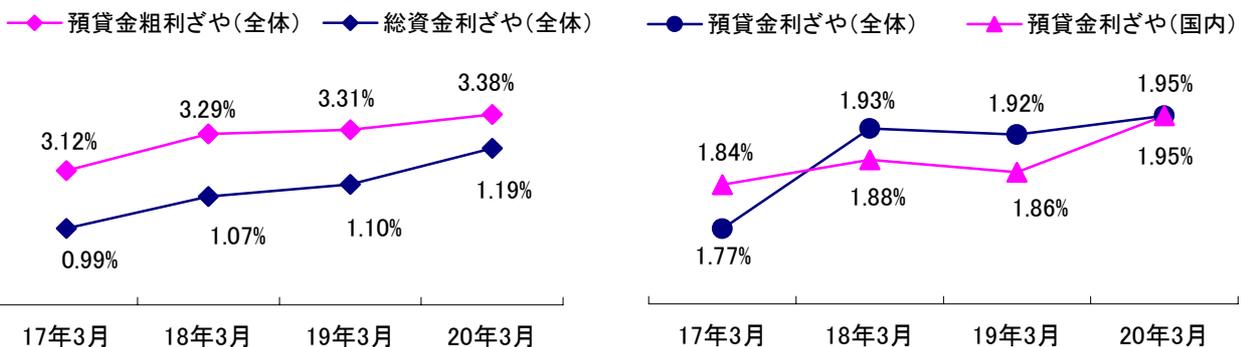
(注2) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(注3) 実質与信費用 = 与信費用 (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) - 償却債権取立益

(1) 利ざや

- ・預貸金粗利ざや(全体)は、収益性の高い個人ローンの増加や貸出金全体に占める変動金利貸出金の割合が高いことが寄与し、貸出金利回りの上昇が預金等利回りの上昇を上回り、前年度比0.07%プラスの3.38%へと拡大。
- ・総資金利ざや(全体)も、資金運用利回りの上昇が資金調達原価の上昇を上回り、前年度比0.09%プラスの1.19%へと拡大。

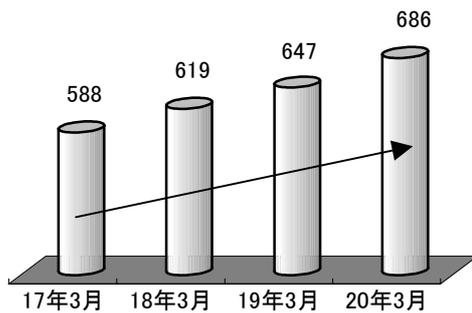
	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
総資金利ざや(全体)	1.19	0.09	1.10
預貸金利ざや(全体)	1.95	0.03	1.92
預貸金利ざや(国内)	1.95	0.09	1.86
預貸金粗利ざや(全体)	3.38	0.07	3.31



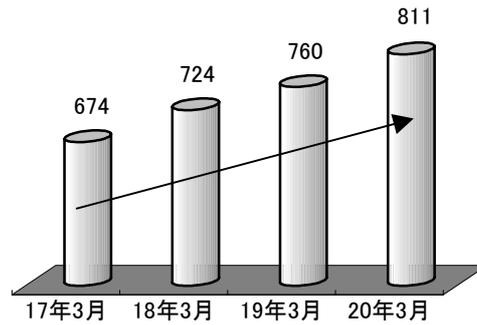
(2)業務粗利益：前年度比27億円増加の796億円

- ・資金利益は、収益性の高い個人ローンの引き続きの増加に加え、政策金利の引き上げに伴う円貨預貸金利益の増加(39億円)および有価証券利息等の増加により、前年度比58億円増加。
- ・コア業務粗利益は、資金利益の増加を主因に、前年同期比51億円増加。
- ・業務粗利益は、国債等債券損益が減少(▲24億円)したもののコア業務粗利益の増加(51億円)により、前年度比27億円増加。

(億円) 円貨預貸金利益



(億円) コア業務粗利益

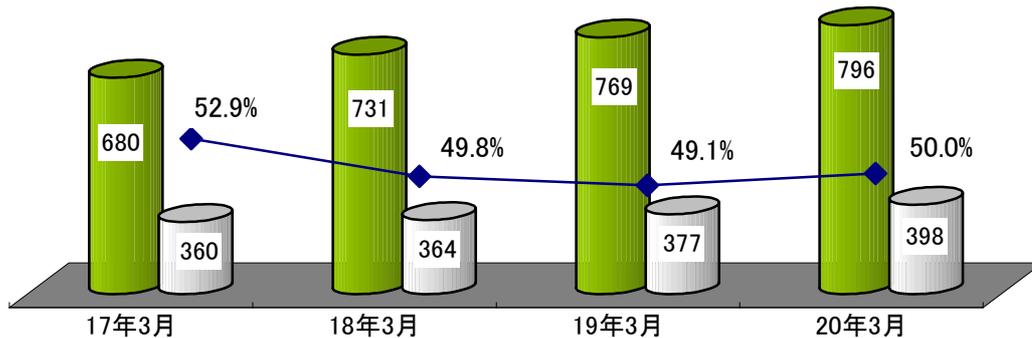


(3)OHR :OHRは50. 0%。

- ・経費は、新店舗設置等の営業強化に伴う費用が増加したことにより前年度比20億円の増加。
- ・OHRは、業務粗利益が増加したものの経費も増加したことから、前年度比若干上昇し50. 0%。(OHR(%)=経費÷業務粗利益×100)

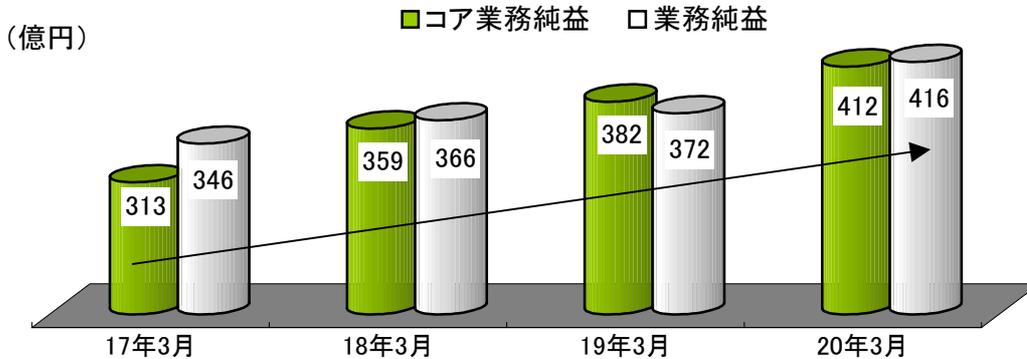
(億円)

■ 業務粗利益 □ 経費 ◆ OHR



(4)コア業務純益・業務純益：コア業務純益は、前年度比30億円増加の412億円

- ・コア業務純益は、経費が増加(20億円)したもののコア業務粗利益が増加(51億円)したことにより、前年度比30億円増加。
- ・業務純益は、コア業務純益の増加(30億円)と、一般貸倒引当金繰入額の減少(37億円)および国債等債券損益の減少(▲24億円)などにより、前年度比43億円増加の416億円となった。



(5)経常利益：前年度比22億円増加の326億円

- ・経常利益は、業務純益の増加(43億円)と保有株式等の減損による株式等損益の減少(▲19億円)等の臨時損益の減少により前年度比22億円増加。

(6)当期純利益：前年度比21億円減少の178億円

- ・当期純利益は、経常利益は増加(22億円)したが、会計制度の変更に伴う引当金の計上(役員退職慰労引当金▲23億円、睡眠預金払戻損失引当金▲2億円)等により前年度比21億円減少。

(7)与信費用：実質与信費用は、前年度比16億円減少の38億円

- ・与信費用は、不良債権処理額が増加(3億円)したが、一般貸倒引当金繰入額が減少(37億円)したことにより、前年度比34億円の減少。
- ・実質与信費用は、償却債権取立益が減少(▲17億円)したものの、与信費用の減少(▲34億円)により、前年度比16億円減少。

2. 主要勘定の状況【単体】

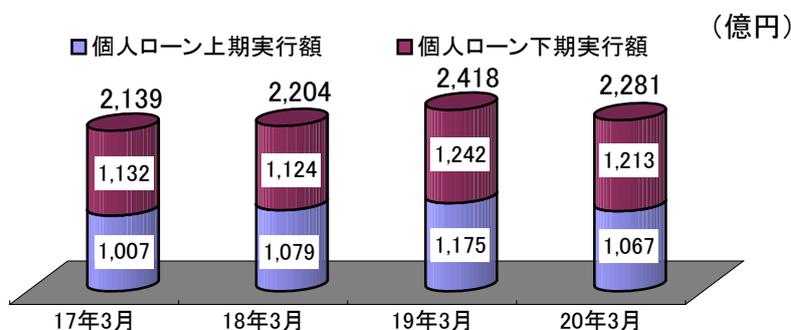
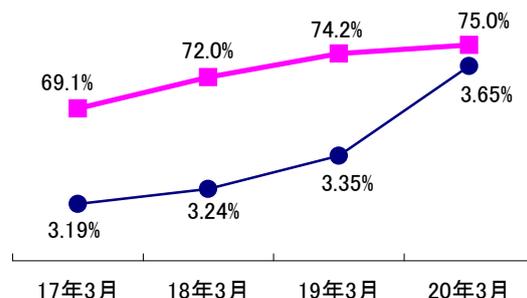
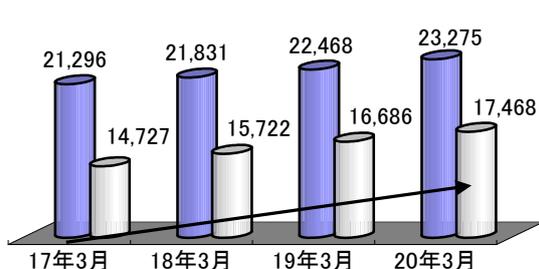
(1) 貸出金

- ・貸出金期末残高は、個人ローンの増加を主因に、前年度末比806億円(3.5%)増加。
- ・個人ローンは、耐震偽装問題への対応による建築確認審査の厳格化に伴う住宅着工件数の大幅な減少等、市場環境が厳しい中、2,281億円を実行し期末残高は前年度末比781億円増を確保。
- ・貸出金利回り(国内)は、収益性の高い個人ローンの増加や19年2月の政策金利の引き上げによる貸出金利回りの上昇に伴い、前年度比0.3%プラスの3.65%に上昇。
- ・住宅ローン、フリーローンなどの個人ローンの金利回りは引き続き上昇しつつ、延滞率・毀損率については低い水準を維持。
- ・預貸率(平残ベース)は、79.4%(前年度末比0.2%プラス)。

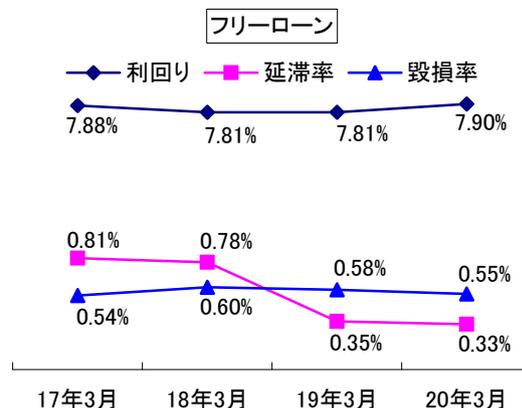
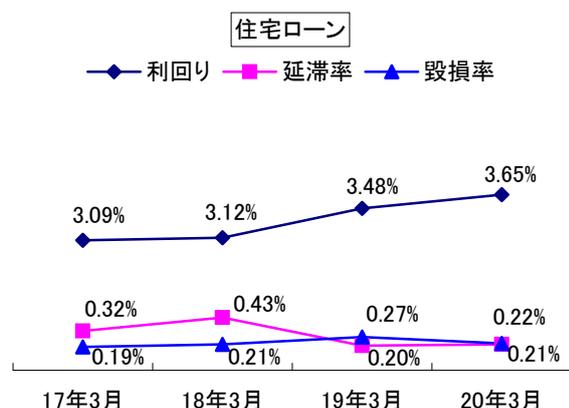
(金額単位 百万円)

	20年3月		19年9月	19年3月
		19年9月比	19年3月比	
貸出金(期末残高)	2,327,529	52,256	80,699	2,275,273
うち個人ローン	1,746,842	46,671	78,169	1,700,171
うち住宅ローン	1,507,479	37,747	60,530	1,469,732
貸出金(期中平均残高)	2,207,914	8,506	56,248	2,199,408
預貸率(末残ベース)	80.6%	1.2%	1.3%	79.4%
預貸率(平残ベース)	79.4%	0.1%	0.2%	79.3%

■ 貸出金期末残高 □ 個人ローン期末残高 (億円) ■ 個人ローン比率 ● 貸出金利回り(国内)



個人ローンの延滞率・毀損率の状況



※延滞率=3ヵ月以上延滞債権÷ローン残高 ※毀損率=デフォルト率×(1-回収率)

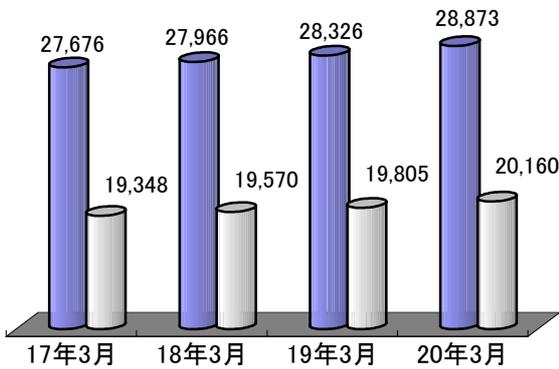
(2) 預金

・預金期末残高は、前年度末比546億円(1.9%)増加。
 ・個人預金期末残高は、堅調に増加し、前年度末比355億円(1.7%)増加。

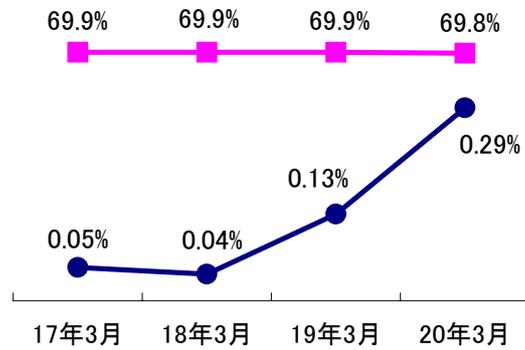
(金額単位 百万円)

	20年3月		19年9月	19年3月
		19年9月比	19年3月比	
預金(期末残高)	2,887,332	23,213	54,635	2,864,119
うち個人預金	2,016,094	25,131	35,529	1,990,963
預金(期中平均残高)	2,780,477	8,746	65,887	2,771,731

■ 預金期末残高 □ 個人預金期末残高 (億円)



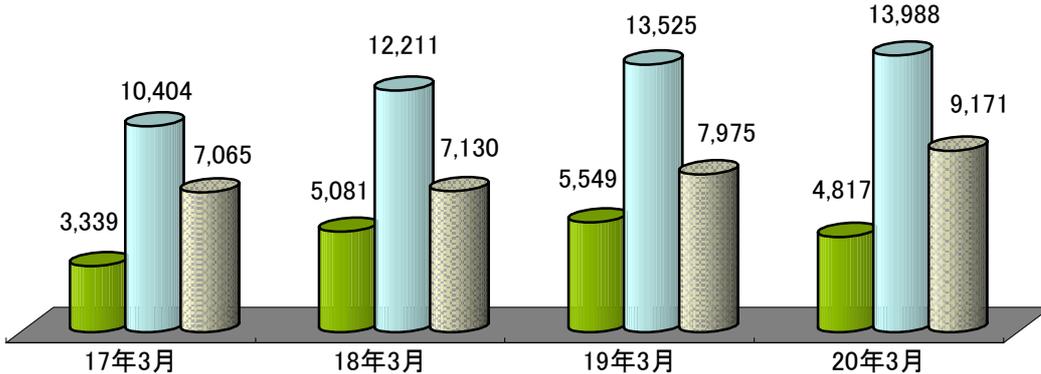
■ 個人預金比率 ● 預金利回り(国内)



(3) 役務取引等利益

・役務取引等利益は、収入は引き続き増加したものの、年度後半の株式市場の低迷により投資信託等の投資性商品の手数料収入が鈍化。住宅ローンの増加に伴う団信保険料や事業拡張に伴う業務委託費用等が増加したため前年度比7億円減少の48億円となった。

(百万円) ■ 役務取引等利益 □ 役務取引等収益 □ 役務取引等費用



(4)個人預り資産

- ・個人預り資産期末残高は、前年度末比656億円増加。年度後半に株式市場が低迷したものの投資性商品は個人年金保険を中心に前年度末比 320億円増加。
- ・投資性商品比率(個人預り資産残高全体に占める割合)は、前年度末比1%上昇し、14.1%。

(金額単位 百万円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
個人預り資産残高	2,341,667	18,987	65,629	2,322,680	2,276,038
うち円貨預金	2,010,359	23,501	33,619	1,986,858	1,976,740
うち投資性商品	331,308	△ 4,513	32,010	335,821	299,298
うち外貨預金	5,735	1,631	1,910	4,104	3,825
うち国債等保護預り	49,632	261	2,971	49,371	46,661
うち投資信託	136,576	△ 16,801	1,188	153,377	135,388
うち個人年金保険	135,339	9,526	24,418	125,813	110,921
うち一時払終身保険	4,023	869	1,522	3,154	2,501
投資性商品比率	14.1%	△0.3%	1.0%	14.4%	13.1%

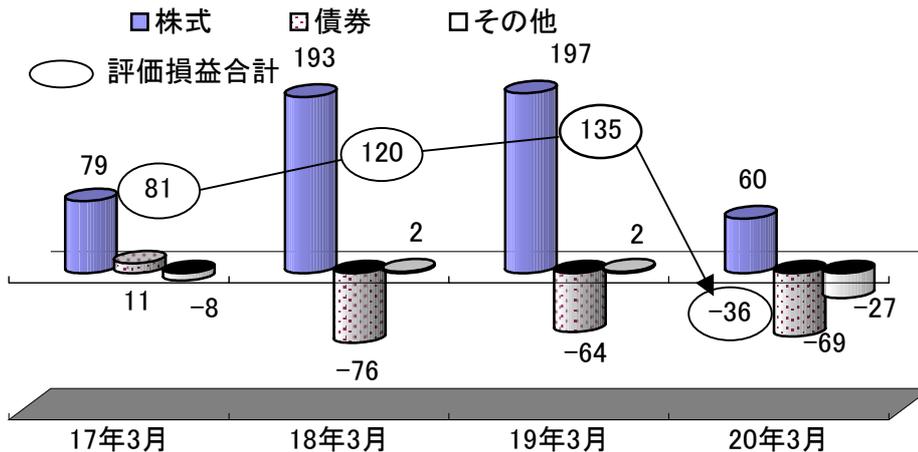
3. 有価証券の評価損益の状況【単体】

- ・評価損益は、株式市場の下落による株式評価益の減少(136億円)や、その他(投資信託等)の評価損の発生(29億円)等により、前年度末比171億円の減少。

(金額単位 百万円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
其他有価証券	△ 3,607	△ 11,146	△ 17,119	7,539	13,512
合計	△ 3,607	△ 11,146	△ 17,119	7,539	13,512
株式	6,082	△ 8,446	△ 13,686	14,528	19,768
債券	△ 6,959	△ 762	△ 461	△ 6,197	△ 6,498
其他	△ 2,729	△ 1,937	△ 2,971	△ 792	242

(億円)



4. 資産の状況【単体】

(1) 金融再生法開示債権

従来からの再生の取組みや最終処理の着実な進展により、開示債権額は前年度末比102億円減少し、開示債権比率は前年度末比0.57%低下。

〔残高推移〕

(金額単位 百万円、%)

	20年3月末		19年9月末		19年3月末	
		19年9月末比	19年3月末比		19年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,870	△ 1,201	892	15,071	12,978	
危険債権	33,286	△ 1,237	△ 6,415	34,523	39,701	
要管理債権	32,336	△ 1,216	△ 4,698	33,552	37,034	
合計 A	79,492	△ 3,655	△ 10,222	83,147	89,714	
総与信残高 B	2,347,649	51,866	79,487	2,295,783	2,268,162	
総与信残高比 A/B	3.38	△ 0.24	△ 0.57	3.62	3.95	

〔保全状況〕

(金額単位 百万円、%)

		破産更生債権等	危険債権	要管理債権	債権額合計	19年3月末比
金融再生法開示債権額 A	13,870	33,286	32,336	79,492	△ 10,222	
保全額合計 (C+D) B	13,870	31,042	22,245	67,157	△ 10,008	
担保保証等による保全額 C	8,949	19,641	14,971	43,562	△ 9,515	
貸倒引当金による引当額 D	4,920	11,400	7,273	23,594	△ 494	
保全率 (B/A)	100.00	93.25	68.79	84.48	△ 1.53	
担保保証等で保全されていない部分 (A-C) E	4,920	13,644	17,364	35,930	△ 707	
上記に対する引当率 (D/E)	100.00	83.55	41.88	65.66	△ 0.08	

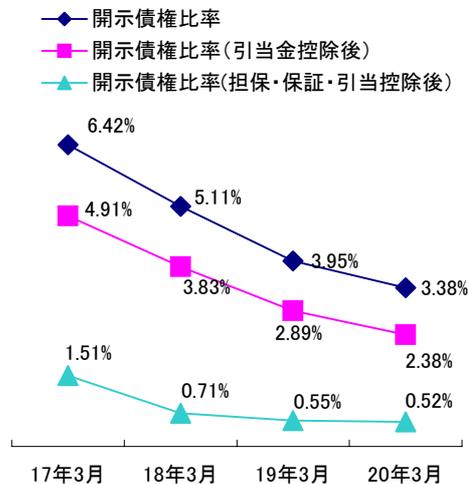
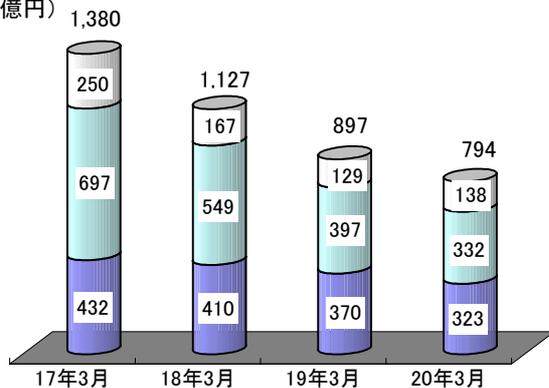
(参考) 19年3月末

担保保証等で保全されていない部分	3,381	15,626	17,629	36,637
上記に対する引当率	100.00	89.22	38.36	65.74

- (注) 1. 破産更生債権等(自己査定上の破綻先・実質破綻先)の担保保証等により保全されていないIV分類債権は部分直接償却を実施しています。なお、今後再生が見込まれる等回収不能額の確定しない先に対しては個別貸倒引当金を計上しております。
2. 危険債権(自己査定上の破綻懸念先)については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、担保保証等により保全されていないIII分類債権に予想損失率を乗じて個別貸倒引当金に計上しております。
3. 要管理(先)債権については、過去3算定期間の貸倒実績率に基づき、今後3年間の予想損失率を算出し、対象全債権(I・II分類)に予想損失率を乗じて一般貸倒引当金に計上しております。

- 破産・更生債権およびこれらに準ずる債権
□危険債権
■要管理債権

(億円)



(2)リスク管理債権

(金額単位 百万円、%)

	20年3月末	19年9月末比	19年3月末比	19年9月末	19年3月末
	破綻先債権額	1,293	△ 516	100	1,809
延滞債権額	45,406	△ 1,986	△ 5,472	47,392	50,878
3ヶ月以上延滞債権額	1,168	△ 184	△ 17	1,352	1,185
貸出条件緩和債権	31,167	△ 1,032	△ 4,682	32,199	35,849
合計	79,036	△ 3,718	△ 10,069	82,754	89,105
保全率	84.39	△ 1.52	△ 1.52	85.91	85.91

5. 与信費用の状況【単体】

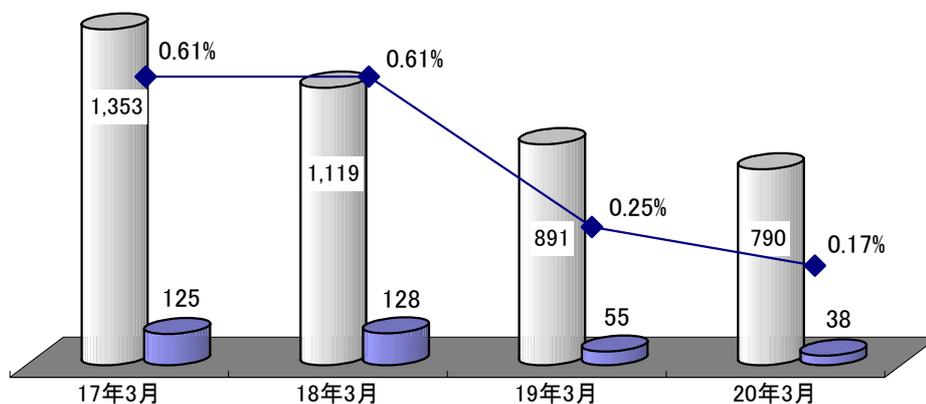
(金額単位 百万円、%)

		20年3月末	19年3月末
		19年3月末比	
不良債権処理額	①	6,883	6,557
貸出金償却		2,275	3,571
個別貸倒引当金繰入額		2,328	1,738
延滞債権等売却損		2,280	1,247
一般貸倒引当金繰入額	②	△ 1,909	1,856
償却債権取立益	A	1,091	2,889
与信費用	③(=①+②)	4,974	8,414
実質与信費用	③-A	3,882	5,525
貸出金平残		2,207,914	2,151,666
与信費用比率		0.22	0.39
実質与信費用比率		0.17	0.25

※与信費用比率=与信費用 ÷ 貸出金平残

※実質与信費用比率=実質与信費用 ÷ 貸出金平残

(億円) □リスク管理債権額 ■実質与信費用 ◆実質与信費用比率



6. ROE・ROA【単体】

- ・当期純利益は前年度を下回り、ROE(当期純利益ベース)は、前年度比 2.68%低下し、10.69%となった。
 ・ROA(当期純利益ベース)は、前年度比から0.10%低下し、0.59%となった。

		20年3月		19年3月
		19年3月比		
ROE	業務純益	24.91	0.08	24.83
	当期純利益	10.69	△ 2.68	13.37
ROA	業務純益	1.39	0.11	1.28
	当期純利益	0.59	△ 0.10	0.69

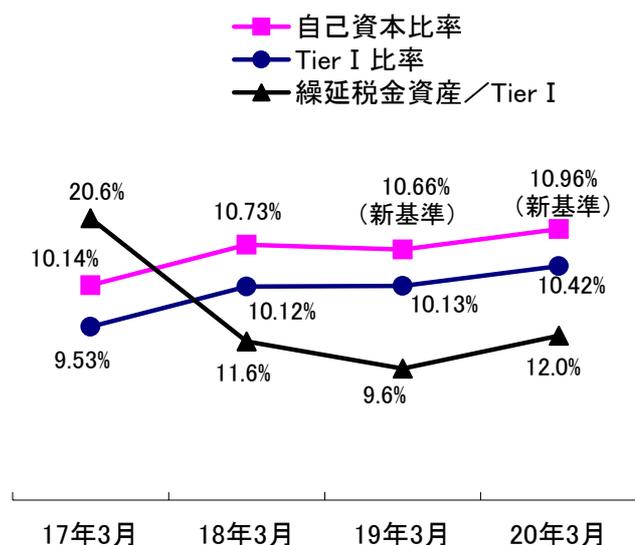
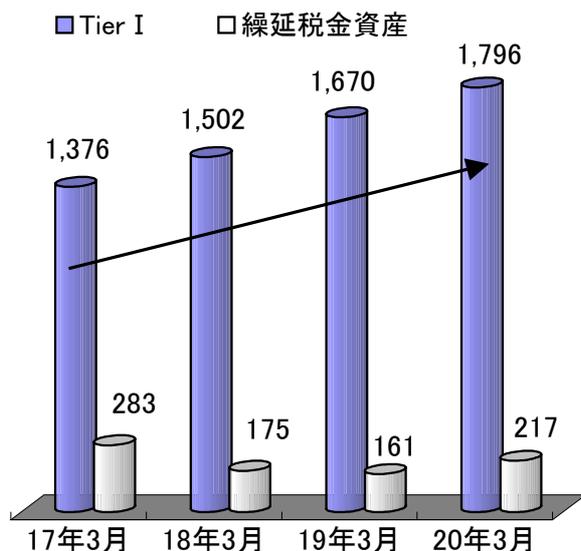
7. 自己資本の状況【単体】

- ・自己資本比率は、19年3月末に新基準への移行によりオペレーショナルリスク相当額の算入や抵当権付住宅ローンの担保評価の見直し等により、10.66%と一旦低下したものの、当期は利益の積み上げによる内部留保の増加等により前年度末比0.3%上昇し、10.96%となった。
 ・Tier I に対する繰延税金資産の比率は、Tier I の増加(125億円)と繰延税金資産の増加(56億円)により、前年度末比2.4%プラスの12.0%となった。

※信用リスクは標準的手法、オペレーショナルリスクは基礎的手法により、リスクアセットを算出。

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比			
自己資本比率(国内基準)	10.96	△ 0.13	0.30	11.09	10.66
うちTier I 比率	10.42	△ 0.13	0.29	10.55	10.13
(参考)自己資本比率(国際統一基準)	11.25	△ 0.31	△ 0.13	11.56	11.38

(億円)



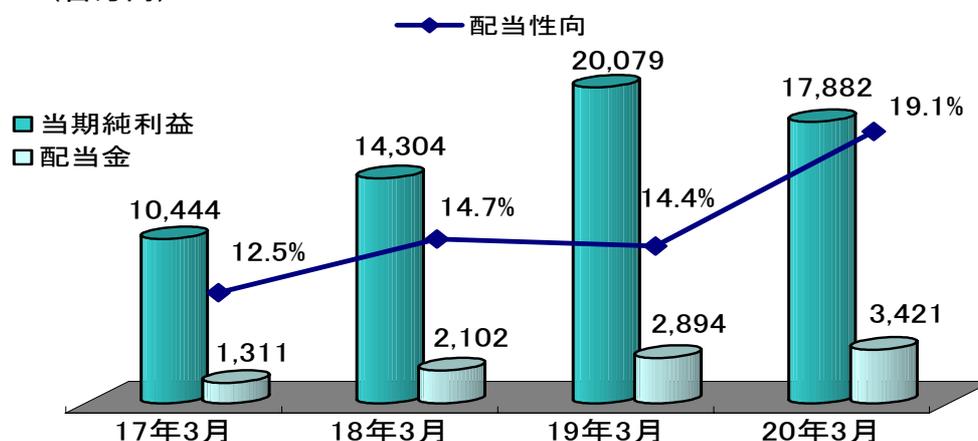
(*自己資本比率は、19年3月末より新基準にて算出、18年3月末以前は、旧基準により算出しております。)

8. 配当の状況:株主の皆様へ、より一層の利益還元を図るべく増配を実施

内部留保の増加により自己資本比率が上昇したこと等を勘案し、株主の皆様へより一層の利益還元を図るべく、期末配当を1株当たり7円(前年度比1円増)とさせていただき、年間配当を13円(前年度比2円増配)とさせていただきます。
 また、21年3月期については、業績予想を踏まえ、1株当たり13円(うち中間期6円50銭)の配当を予定しております。

	20年3月期		19年3月期 (実績)	21年3月期 (予定)
		19年3月期比		
1株当たり年間配当金	13円	2円	11円	13円
中間配当	6円	1円	5円	6円50銭
期末配当	7円	1円	6円	6円50銭

(百万円)



9. 平成21年3月期の業績予想

【単体】

(金額単位 百万円)

	21年3月期予想	
	中間期	通期
経常収益	56,000	113,000
業務純益	20,500	43,000
経常利益	17,500	37,000
当期(中間)純利益	10,500	22,000

【連結】

(金額単位 百万円)

	21年3月期予想	
	中間期	通期
経常収益	60,500	122,000
経常利益	17,600	37,200
当期(中間)純利益	10,500	22,100

(注)上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれら業績予想値とは異なる可能性があります。

10. 地域貢献に関する情報【単体】

地域とは、静岡県、神奈川県であります。地域向けの諸計数は、所在地が静岡県、神奈川県である営業店の取引であります。

(1) 地域のお客さまとの取引

① 貸出業務の状況

(金額単位 百万円、%)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
	19年9月末比	19年3月末比			
貸出金残高	2,327,529	52,256	80,699	2,275,273	2,246,830
うち地域向け貸出金	2,145,247	44,427	54,532	2,100,820	2,090,715
地域向け貸出金比率	92.16	△ 0.17	△ 0.89	92.33	93.05

② 預金業務の状況

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
	19年9月末比	19年3月末比			
預金残高	2,887,332	23,213	54,635	2,864,119	2,832,697
うち地域内預金	2,653,609	2,421	24,250	2,651,188	2,629,359

(2) 地域ネットワークの状況

① 地域別店舗数

(単位 店)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
	19年9月末比	19年3月末比			
全 店	124	0	3	124	121
うち地域内店舗数	116	0	2	116	114

② 自動取引機設置状況

(単位 台、箇所)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
	19年9月末比	19年3月末比			
現金自動設備設置台数	21,847	665	1,687	21,182	20,160
うちイーネット・セブン銀行・タウンネットワーク	21,297	672	1,695	20,625	19,602
うち地域内設置台数	3,312	129	289	3,183	3,023
うちイーネット・セブン銀行・タウンネットワーク	2,775	136	298	2,639	2,477
店舗外自動設備設置箇所	21,340	978	1,804	20,362	19,536
うちイーネット・セブン銀行・タウンネットワーク	21,157	984	1,813	20,173	19,344
うち地域内設置箇所	2,775	86	196	2,689	2,579
うちイーネット・セブン銀行・タウンネットワーク	2,595	92	205	2,503	2,390

Ⅱ. 平成20年3月期決算の状況

1. 損益状況【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
業務粗利益	79,645	2,705	76,940
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(81,159	5,153	76,006)
国内業務粗利益	77,687	3,103	74,584
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(79,201	5,551	73,650)
資 金 利 益	74,629	6,308	68,321
役 務 取 引 等 利 益	4,573	△ 735	5,308
そ の 他 業 務 利 益	△ 1,515	△ 2,469	954
(うち国債等債券損益)	(△ 1,513	△ 2,447	934)
国際業務粗利益	1,958	△ 398	2,356
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	(1,958	△ 398	2,356)
資 金 利 益	1,548	△ 441	1,989
役 務 取 引 等 利 益	243	3	240
そ の 他 業 務 利 益	166	40	126
(うち国債等債券損益)	(-	-	-)
経費(除く臨時処理分)	39,889	2,097	37,792
人件費	14,013	442	13,571
物件費	23,563	1,550	22,013
税金	2,312	105	2,207
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	39,756	608	39,148
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	41,270	3,056	38,214
一般貸倒引当金繰入額	△ 1,909	△ 3,765	1,856
業務純益	41,666	4,375	37,291
うち国債等債券損益(5勘定戻)	△ 1,513	△ 2,447	934
臨時損益	△ 9,029	△ 2,168	△ 6,861
うち株式等損益(3勘定戻)	△ 1,911	△ 1,939	28
経常利益	32,631	2,204	30,427
特別損益	△ 2,348	△ 5,127	2,779
うち固定資産処分損益	△ 778	△ 668	△ 110
固定資産処分益	18	△ 87	105
固定資産処分損	796	581	215
うち償却債権取立益	1,091	△ 1,798	2,889
うち役員退職慰労引当金過年度分繰入額	2,394	2,394	-
うち睡眠預金払戻損失引当金過年度分繰入額	267	267	-
税引前当期純利益	30,282	△ 2,924	33,206
法人税、住民税及び事業税	11,107	△ 1,228	12,335
法人税等調整額	1,292	500	792
当期純利益	17,882	△ 2,197	20,079
①一般貸倒引当金繰入額	△ 1,909	△ 3,765	1,856
②不良債権処理額	6,883	326	6,557
貸出金償却	2,275	△ 1,296	3,571
個別貸倒引当金繰入額	2,328	590	1,738
延滞債権等売却損	2,280	1,033	1,247
(貸倒償却引当費用①+②)	4,974	△ 3,440	8,414

損益状況【連結】

(金額単位 百万円)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
連結粗利益	83,662	2,921	80,741
資金利益	78,122	6,182	71,940
役務取引等利益	6,296	△ 574	6,870
その他の業務利益	△ 756	△ 2,686	1,930
経費(除く臨時処理分)	40,926	2,007	38,919
貸倒償却引当費用	5,134	△ 2,393	7,527
株式等関係損益	△ 1,496	△ 1,504	8
持分法による投資損益	-	-	-
その他	△ 4,090	△ 1,045	△ 3,045
経常利益	32,013	756	31,257
特別損益	△ 2,300	△ 5,084	2,784
税金等調整前当期純利益	29,713	△ 4,329	34,042
法人税、住民税及び事業税	11,788	△ 721	12,509
法人税等調整額	680	△ 375	1,055
少数株主利益	112	△ 20	132
当期純利益	17,131	△ 3,214	20,345

貸倒償却引当費用	5,134	△ 2,393	7,527
貸出金償却	2,692	△ 1,246	3,938
個別貸倒引当金繰入額	2,651	941	1,710
一般貸倒引当金繰入額	△ 209	△ 2,087	1,878

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

連結業務純益	42,945	3,002	39,943
--------	--------	-------	--------

(注) 連結業務純益 = 連結粗利益 - 連結経費 - 連結一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(単位 社)

連結子会社数	7	-	7
持分法適用会社数	-	-	-

2. 業務純益【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)	39,756	608	39,148
職員一人当たり(千円)	28,017	55	27,962
(2) 業務純益	41,666	4,375	37,291
職員一人当たり(千円)	29,363	2,727	26,636

3. 利鞘(全店)【単体】

(単位 %)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	3.16	0.26	2.90
(イ) 貸出金利回	3.75	0.24	3.51
(ロ) 有価証券利回	1.07	0.26	0.81
(2) 資金調達原価 (B)	1.96	0.17	1.79
(イ) 預金等利回	0.36	0.17	0.19
(ロ) 外部負債利回	—	—	—
(3) 預貸金利鞘	1.95	0.03	1.92
(4) 総資金利鞘 (A) - (B)	1.19	0.09	1.10

利鞘(国内)【単体】

(単位 %)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	2.92	0.32	2.60
(イ) 貸出金利回	3.65	0.30	3.35
(ロ) 有価証券利回	1.01	0.29	0.72
(2) 資金調達原価 (B)	1.70	0.21	1.49
(イ) 預金等利回	0.29	0.16	0.13
(ロ) 外部負債利回	—	—	—
(3) 預貸金利鞘	1.95	0.09	1.86
(4) 総資金利鞘 (A) - (B)	1.22	0.11	1.11

4. 有価証券関係損益【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月期		19年3月期
		19年3月期比	
国債等債券損益(5勘定戻)	△ 1,513	△ 2,447	934
売却益	128	40	88
償還益	341	△ 716	1,057
売却損	4	△ 41	45
償還損	327	161	166
償却	1,652	1,652	—
株式等損益(3勘定戻)	△ 1,911	△ 1,939	28
売却益	910	872	38
売却損	8	8	—
償却	2,814	2,805	9

5. 自己資本比率【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末		19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
(1) 自己資本比率	%			%	%
① 国際統一基準	11.25	△ 0.31	△ 0.13	11.56	11.38
② 国内基準	10.96	△ 0.13	0.30	11.09	10.66
(2) Tier I	179,615	3,879	12,529	175,736	167,086
(3) Tier II					
① 国際統一基準	16,941	△ 3,255	△ 7,535	20,196	24,476
(イ)うち自己資本に計上 された有価証券含み益	-	△ 3,247	△ 5,625	3,247	5,625
② 国内基準	10,772	364	471	10,408	10,301
(4) 控除項目(△)	1,456	40	△ 105	1,416	1,561
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)					
① 国際統一基準	195,099	583	5,098	194,516	190,001
② 国内基準	188,930	4,203	13,104	184,727	175,826
(6) リスクアセット					
① 国際統一基準	1,732,843	51,046	63,530	1,681,797	1,669,313
② 国内基準	1,723,601	58,304	75,305	1,665,297	1,648,296

自己資本比率【連結】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末		19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
(1) 自己資本比率	%			%	%
① 国際統一基準	11.34	△ 0.26	0.12	11.60	11.22
② 国内基準	10.93	△ 0.10	0.45	11.03	10.48
(2) Tier I	182,157	4,381	15,210	177,776	166,947
(3) Tier II					
① 国際統一基準	19,173	△ 3,075	△ 5,941	22,248	25,114
(イ)うち自己資本に計上 された有価証券含み益	-	△ 3,295	△ 5,730	3,295	5,730
② 国内基準	10,954	366	475	10,588	10,479
(4) 控除項目(△)	1,456	40	△ 105	1,416	1,561
(5) 自己資本(2)+(3)-(4)					
① 国際統一基準	199,874	1,267	9,374	198,607	190,500
② 国内基準	191,654	4,706	15,789	186,948	175,865
(6) リスクアセット					
① 国際統一基準	1,762,073	51,254	64,774	1,710,819	1,697,299
② 国内基準	1,752,695	58,529	75,921	1,694,166	1,676,774

6. ROE【単体】

(単位 %)

	20年3月期		19年9月期		19年3月期
		19年9月期比	19年3月期比		
業務純益ベース	24.91	△ 2.39	0.08	27.30	24.83
当期(中間)純利益ベース	10.69	△ 1.35	△ 2.68	12.04	13.37

Ⅲ. 貸出金等の状況

資産内容の開示における各種基準の比較

【単体】

(平成20年3月末)

(金額単位：百万円)

開示基準別の分類・保全状況

自己査定結果(債務者区分別)					金融再生法の開示基準				リスク管理債権	
対象:貸出金等与信関連債権					対象:要管理債権は貸出金のみ、 その他は貸出金等与信関連債権				対象:貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保・保証	引当額	保全率	区分	残高
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類						
破綻先 1,377 (892)	1,069	308	-	- (892)	破産・更生 債権および これらに準 ずる債権 13,870	8,949	4,920	100%	破綻先債権	1,293
実質破綻先 12,492 (4,028)	5,992	6,500	-	- (4,028)	危険債権 33,286	19,641	11,400	93.25%	延滞債権	45,406
破綻懸念先 33,286 (11,400)	20,254	10,787	2,244 (11,400)	-	要管理債権 32,336	14,971	7,273	68.79%	3カ月以上 延滞債権	1,168
要 注 意 先	要管理先 49,838	2,153	47,684	-	小計 79,492	43,562	23,594	84.48%	貸出条件 緩和債権	31,167
	要管理先以外 の要注意先 212,680	67,000	145,679	-	正常債権 2,268,156				合計	79,036
正常先 2,037,974	2,037,974	-	-	-	合計					
合計 2,347,649 (16,321)	2,134,443	210,961	2,244 (11,400)	- (4,920)	2,347,649					

(注1) 貸出金等与信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息・当社保証付私募債

(注2) 自己査定結果(債務者区分別)における()内は分類額に対する引当額であります

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却 実施後

未収利息不計上基準 (自己査定破綻懸念先、実質破綻先、破綻先に対する未収利息は全額不計上)

【単体】

(金額単位 百万円、%)

		20年3月末		19年9月末	19年3月末
			19年9月末比	19年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	1,293	△516	100	1,809
	延滞債権額	45,406	△1,986	△5,472	47,392
	3ヶ月以上延滞債権	1,168	△184	△17	1,352
	貸出条件緩和債権	31,167	△1,032	△4,682	32,199
	合計	79,036	△3,718	△10,069	82,754

貸出金残高(末残)	2,327,529	52,256	80,699	2,275,273	2,246,830
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

貸出金残高比	破綻先債権額		0.05	△0.02	0.00	0.07	0.05
	延滞債権額		1.95	△0.13	△0.31	2.08	2.26
	3ヶ月以上延滞債権		0.05	0.00	0.00	0.05	0.05
	貸出条件緩和債権		1.33	△0.08	△0.26	1.41	1.59
	合計		3.39	△0.24	△0.57	3.63	3.96

【連結】

(金額単位 百万円、%)

		20年3月末		19年9月末	19年3月末
			19年9月末比	19年3月末比	
リスク管理債権	破綻先債権額	1,566	△702	△49	2,268
	延滞債権額	46,536	△2,192	△5,556	48,728
	3ヶ月以上延滞債権	1,209	△183	△40	1,392
	貸出条件緩和債権	31,167	△1,032	△4,682	32,199
	合計	80,481	△4,107	△10,325	84,588

貸出金残高(末残)	2,323,561	52,162	80,879	2,271,399	2,242,682
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

貸出金残高比	破綻先債権額		0.06	△0.03	△0.01	0.09	0.07
	延滞債権額		2.00	△0.14	△0.32	2.14	2.32
	3ヶ月以上延滞債権		0.05	△0.01	0.00	0.06	0.05
	貸出条件緩和債権		1.34	△0.07	△0.25	1.41	1.59
	合計		3.46	△0.26	△0.58	3.72	4.04

2. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(金額単位 百万円、%)

		20年3月末		19年9月末	19年3月末
			19年9月末比	19年3月末比	
リスク管理債権額 (A)	79,036	△3,718	△10,069	82,754	89,105
担保・保証等 (B)	43,537	△4,688	△9,515	48,225	53,052
貸倒引当金 (C)	23,164	293	△342	22,871	23,506
引当率 (C/A)	29.30	1.67	2.92	27.63	26.38
保全率 (B+C) / (A)	84.39	△1.52	△1.52	85.91	85.91

【連結】

(金額単位 百万円、%)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
リスク管理債権額 (A)	80,481	△ 4,107	84,588	90,806
担保・保証等 (B)	43,985	△ 4,705	48,690	53,523
貸倒引当金 (C)	24,066	△ 87	24,153	23,998
引当率 (C/A)	29.90	1.35	28.55	26.42
保全率 (B+C)/(A)	84.55	△ 1.56	86.11	85.36

3. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金	33,336	△ 180	33,516	36,245
一般貸倒引当金	16,941	△ 8	16,949	18,851
個別貸倒引当金	16,394	△ 172	16,566	17,394
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-

【連結】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金	36,587	△ 367	36,954	37,937
一般貸倒引当金	19,173	220	18,953	19,383
個別貸倒引当金	17,413	△ 588	18,001	18,553
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-

4. 金融再生法開示債権

【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,870	△ 1,201	15,071	12,978
危険債権	33,286	△ 1,237	34,523	39,701
要管理債権	32,336	△ 1,216	33,552	37,034
合計(A)	79,492	△ 3,655	83,147	89,714

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(金額単位 百万円、%)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
保全額(B)	67,157	△ 4,035	71,192	77,165
貸倒引当金	23,594	599	22,995	24,088
特定債務者引当金	-	-	-	-
担保保証等	43,562	△ 4,635	48,197	53,077
保全率 (B)/(A)	84.48	△ 1.14	85.62	86.01

6. 業種別貸出状況等

①業種別貸出金【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
		19年9月末比			19年3月末比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	2,327,529	52,256	80,699	2,275,273	2,246,830
製造業	62,299	△ 11,416	△ 4,879	73,715	67,178
農業	8,678	△ 248	△ 548	8,926	9,226
林業	12	△ 61	△ 82	73	94
漁業	820	52	54	768	766
鉱業	-	△ 18	△ 65	18	65
建設業	40,477	△ 915	△ 1,664	41,392	42,141
電気・ガス・熱供給・水道業	24,692	4,838	15,438	19,854	9,254
情報通信業	1,923	416	344	1,507	1,579
運輸業	18,779	1,133	268	17,646	18,511
卸売・小売業	77,780	△ 5,313	△ 7,440	83,093	85,220
金融・保険業	83,899	4,569	12,998	79,330	70,901
不動産業	135,338	8,762	△ 9,633	126,576	144,971
各種サービス業	94,443	△ 7,029	△ 9,746	101,472	104,189
地方公共団体	36,244	8,954	5,895	27,290	30,349
その他の	1,742,145	48,532	79,759	1,693,613	1,662,386

②業種別リスク管理債権【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末	
		19年9月末比			19年3月末比
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	79,036	△3,718	△ 10,069	82,754	89,105
製造業	10,997	715	△ 605	10,282	11,602
農業	-	-	-	-	-
林業	-	-	-	-	-
漁業	13	13	13	-	-
鉱業	-	-	-	-	-
建設業	3,968	△354	△ 192	4,322	4,160
電気・ガス・熱供給・水道業	85	10	18	75	67
情報通信業	44	35	35	9	9
運輸業	86	△41	△ 243	127	329
卸売・小売業	8,843	△437	892	9,280	7,951
金融・保険業	35	△392	△ 61	427	96
不動産業	10,748	△109	△ 1,559	10,857	12,307
各種サービス業	24,593	△3,053	△ 7,880	27,646	32,473
地方公共団体	-	-	-	-	-
その他の	19,619	△107	△ 489	19,726	20,108

③個人ローン残高【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比		
個人ローン残高	1,746,842	46,671	78,169	1,700,171
うち住宅ローン残高	1,507,479	37,747	60,530	1,469,732
うちその他ローン残高	239,362	8,924	17,638	230,438

④中小企業等貸出比率【単体】

(単位 %)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比		
中小企業等貸出比率	93.17	△ 0.14	△ 1.16	93.31

7. 国別貸出状況等

①特定海外債権残高【単体】

該当ございません

②アジア向け貸出金【単体】

該当ございません

8. 預金、貸出金の残高【単体】

(金額単位 百万円)

	20年3月		19年9月	19年3月
		19年9月比		
預金 (期末残高)	2,887,332	23,213	54,635	2,864,119
(平均残高)	2,780,477	8,746	65,887	2,771,731
貸出金(期末残高)	2,327,529	52,256	80,699	2,275,273
(平均残高)	2,207,914	8,506	56,248	2,199,408

IV. 有価証券の評価損益

1. 評価損益

(金額単位 百万円)

【単体】	20年3月末					19年9月末			19年3月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		19年9月末比	19年3月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
その他有価証券	△ 3,607	△ 11,146	△ 17,119	10,265	13,872	7,539	16,804	9,265	13,512	22,398	8,886
合計	△ 3,607	△ 11,146	△ 17,119	10,265	13,872	7,539	16,804	9,265	13,512	22,398	8,886
株式	6,082	△ 8,446	△ 13,686	8,606	2,524	14,528	15,992	1,464	19,768	20,801	1,032
債券	△ 6,959	△ 762	△ 461	732	7,692	△ 6,197	234	6,431	△ 6,498	158	6,657
その他	△ 2,729	△ 1,937	△ 2,971	925	3,655	△ 792	576	1,369	242	1,438	1,196

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借(中間貸借)対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

(金額単位 百万円)

【連結】	20年3月末					19年9月末			19年3月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		19年9月末比	19年3月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
その他有価証券	△ 3,501	△ 11,146	△ 17,246	10,402	13,904	7,645	16,956	9,311	13,745	22,654	8,908
合計	△ 3,501	△ 11,146	△ 17,246	10,402	13,904	7,645	16,956	9,311	13,745	22,654	8,908
株式	6,187	△ 8,442	△ 13,808	8,743	2,556	14,629	16,139	1,510	19,995	21,050	1,054
債券	△ 6,959	△ 762	△ 461	732	7,692	△ 6,197	234	6,431	△ 6,498	158	6,657
その他	△ 2,729	△ 1,943	△ 2,977	925	3,655	△ 786	582	1,369	248	1,445	1,196

(注) 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、連結(中間連結)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

V. 退職給付関連

1. 退職給付債務に関する事項

【単体】

(金額単位 百万円)

区 分	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
退職給付債務 (A)	△ 18,533	△ 18,086
年金資産 (B)	16,936	21,451
未積立退職給付債務 (C)=(A)+(B)	△ 1,596	3,364
未認識数理計算上の差異 (D)	3,683	△ 2,304
貸借対照表計上額純額 (E)=(C)+(D)	2,086	1,059
前払年金費用 (F)	2,086	1,059
退職給付引当金 (E)-(F)	-	-

【連結】

(金額単位 百万円)

区 分	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
退職給付債務 (A)	△ 18,704	△ 18,245
年金資産 (B)	16,964	21,476
未積立退職給付債務 (C)=(A)+(B)	△ 1,740	3,231
未認識数理計算上の差異 (D)	3,683	△ 2,304
連結貸借対照表計上額純額 (E)=(C)+(D)	1,943	926
前払年金費用 (F)	2,086	1,059
退職給付引当金 (E)-(F)	△ 143	△ 133

(注)連結子会社は、退職給付債務の算定に当たり簡便法を採用しております。

2. 退職給付費用に関する事項

【単体】

(金額単位 百万円)

区 分	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
勤務費用	513	519
利息費用	361	360
期待運用収益	△ 214	△ 208
数理計算上の差異の費用処理額	△ 375	△ 440
その他(臨時に支払った割増退職金等)	29	17
退職給付費用	313	247

【連結】

(金額単位 百万円)

区 分	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
勤務費用	535	538
利息費用	361	360
期待運用収益	△ 214	△ 208
数理計算上の差異の費用処理額	△ 375	△ 440
その他(臨時に支払った割増退職金等)	29	17
退職給付費用	336	267

(注)簡便法を採用している連結子会社の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。